



2009年10月

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

透析室の看護師について

透析医療事業部 副部長 熊澤 ひとみ

季節の変わり目で、日々の気温の変化が激しい時期です、また、新型インフルエンザも流行しております。

みなさまくれぐれも体調管理などに気をつけてください。

現在愛知県内には、偕行会グループの透析クリニックが9施設あります。その中で、約160名の看護師が勤務しております。今回は、透析室の看護師についてお話をさせていただきます。

日常の透析治療の中で、針を刺したり、血圧を測ったり、処置や注射を行ったりしています。しかし、看護師の役割は、日常的なお世話だけではありません。

透析の看護師の役割は、『専門的な知識と技術を持って、安全で効率の良い安定した透析療法を提供し、透析者に不安や苦痛を与えること無く、尿毒症や溢水状態を改善し、透析による副作用の出現や透析合併症を防ぐ為の援助を行なうこと。』とされています。



透析看護の基本

- ①安全で安楽な透析技術の提供
- ②合併症の苦痛や影響の軽減、治療に対する不安の軽減
- ③透析治療の合併症防止策と管理
- ④透析治療中のケア、透析治療中の事故防止
- ⑤QOL(日常生活の質)向上の支援、食事指導



これらの基本に沿って、日常の私たちの業務について、簡単に説明させていただきます。